

世界の最近の原子力発電所の運転・建設・廃止動向

2026 年 9 月 15 日 （一社）日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部

世界の原子力発電開発の現状 2026 年 1 月 1 日現在（原子力発電量・シェアは 2025 年実績値）

	国・地域	運転中【運転可能炉】		建設中		計画中		原子力発電量 （シェア）	
		基	万 kW(グロス)	基	万 kW(グロス)	基	万 kW(グロス)	億 kWh	%
1	米国	94	10,247.7			10	661.5	① 7,856	17.7
2	フランス	56	6,404.0	1	165.0	2	330.0	③ 3,735	68.1
3	中国	58	6,072.5	39	4,501.0	28	3,168.1	② 4,386	5.0
4	日本※	33	1,460.9(3,308.3)	3	414.1	8	1,158.2	⑥ 947	9.4
5	ロシア	33	2,854.0	11	553.2	30	2,416.1	④ 2,049	18.7
6	韓国	26	2,621.6	3	420.0	1	140.0	⑤ 1,755	31.0
7	ウクライナ	15	1,383.5	2	217.8	2	250.0	N/A	N/A
8	カナダ	17	1,352.6			1	30.0	⑦ 811	13.0
9	インド	25	888.0	8	660.0	12	1,030.0	⑨ 491	3.2
10	スペイン	7	739.7					⑧ 515	18.9
11	スウェーデン	6	726.6					⑩ 448	26.7
12	英国	9	653.4	2	344.0	2	344.0	⑫ 329	10.7
13	アラブ首長国連邦	4	560.0					⑪ 398	22.0
14	フィンランド	5	456.2					⑬ 313	39.6
15	チェコ	6	421.8					⑭ 303	42.1
16	パキスタン	6	353.0	1	120.0			⑮ 237	16.5
17	スイス	4	310.5					⑰ 184	27.1
18	スロバキア	5	249.1	1	47.1			⑱ 180	64.4
19	ベラルーシ	2	238.8					⑲ 159	39.5
20	ベルギー	2	217.5					⑳ 226	32.6
21	ブルガリア	2	208.0			2	250.0	㉒ 147	38.3
22	ハンガリー	4	202.7			2	246.5	㉔ 152	45.2
23	ブラジル	2	199.0	1	140.5			㉖ 149	2.2
24	南アフリカ	2	193.4					㉘ 102	5.5
25	アルゼンチン	3	176.3	1	3.2	1	100.0	㉚ 108	7.3
26	メキシコ	2	160.8					㉜ 98	3.9
27	ルーマニア	2	141.1	2	141.2			㉝ 101	20.5
28	イラン	1	100.0	1	105.7	2	144.2	㉞ 51	1.3
29	スロベニア	1	73.0					㉟ 55	39.7
30	オランダ	1	51.2					㊱ 38	2.7
31	アルメニア	1	44.8					㊲ 27	30.6
32	エジプト			4	480.0				
33	トルコ			4	480.0	4	N/A		
34	バングラデシュ			2	240.0				
35	ポーランド					6	900.0		
36	カザフスタン					2	240.0		
37	ウズベキスタン					4	211.0		
	合計	434	41,609.1	86	9,032.8	119	11,619.6	26,353	8.4

出典：（一社）日本原子力産業協会「世界の原子力発電開発の動向 2026 年版」

※日本の運転中【運転可能炉】に記載のデータは、2026 年 8 月 1 日現在の再稼働炉(新規制基準に合格して運転再開した原子炉)を示す。（ ）内は、再稼働炉と安全審査申請炉/未申請炉の合計。出力はグロス表記。出典は当協会調べ。
・原子力発電量（シェア）は 2025 年実績値（出典：IAEA, Power Reactor Information Statistics）。
・原子力発電量の数値前の番号は、原子力発電量の世界順位を表す。原子力発電量の合計にウクライナの原子力発電量は含まれていない。ウクライナの 2021 年の原子力発電量は 811 億 kWh, 原子力シェアは 55.0%（ロシアのウクライナ侵攻は 2022 年 2 月）。

世界の原子炉の営業運転開始・建設開始・閉鎖の推移(2011 年以降)

	営業運転開始		建設開始		閉鎖	
	基	国（原子炉）	基	国（原子炉）	基	国（原子炉）
2011 ～ 2022	71	中 40、露 10、韓 7、印 3、パキスタン 5、アルゼンチン 1、イラン 1、米 1、ベラルーシ 1 UAE2	75	中 33、印 6、韓 4、パキスタン 4、UAE4、米 4、露 6、バングラデシュ 2、ベラルーシ 2、トルコ 4、英 2、アルゼンチン 1、イラン 1、エジプト 2	80	日 22、独 14、米 12、露 5、スウェーデン 4、英 10、仏 2、韓 2、台 3、加 1、西 1、スイス 1、パキスタン 1、ベルギー 1、米 1
2023	8	中 2、UAE1、フィンランド 1、印 1、米 1、ベラルーシ 1、スロバキア 1	8	中 5、露 2、エジプト 1、	5	独 3、ベルギー 1、台 1
2024	5	中 1、インド 1、韓 1、UAE1、米 1	11	中 6、エジプト 1、露 3、パキスタン 1	4	加 2、露 1、台 1、
2025	2	中 1、印 1	12	中 9、露 1、韓 1、*加（DNNP1）	7	ベルギー 3、台 1、**露 3
2026	5	中（漳州 2、太平嶺 1・2、三澳 1）、露（クルスク II・1） ***中（昌江 3）	9	中（徐圩 I・1、金七門 2、太平嶺 4）、印（カガ 5・6）、ハンガリー（パクシュ 5）、露（クルスク II・3）、韓（新ハヌル 4）、ウズベキスタン（SMR1）		

注：*印：事業者発表。**3 万 kW 未満。***送電開始（営業運転開始していないもの）。国名の左側の数字は基数を示す。出典：日本原子力産業協会、IAEA、WNA 等。

最近数か月の主な原子炉開発関連動向(2026 年 5 月上旬～8 月下旬)
（原子力産業新聞海外 NEWS 記事を中心に各関係機関発表、メディア報道などを参考に作成）
5 月 10 日 **中・太平嶺 4 号機 (PWR=華龍一号「HPR1000」、120.0 万 kWe) が着工。**
5 月 27 日 英ロールス・ロイス SMR 社、チェコのシュコダ 社と韓国の斗山エナジーリティ社と長納期機器供給契約を締結。
5 月 29 日 **韓・新ハヌル 4 号機 (PWR「APR1400」、140.0 万 kWe) が着工。**
6 月 2 日 米 X-エナジー社、英国の包括的設計審査 (GDA) を申請。
6 月 3 日 NEA「原子力エネルギー見通し」を発表。2050 年までの世界の原子力発電設備容量の拡大可能性を 4 つのシナリオで分析。
6 月 4 日 **米 Antares Nuclear 社のマイクロ炉「Mark-0」が初臨界を達成。米エネルギー省 (DOE) の原子炉パイロットプログラム (RPP) 初の成功事例。ウズベキスタン、露製 SMR 初号機「RITM-200N」 (PWR、5.5 万 kWe) が着工。**
6 月 4 日 イタリア議会下院、持続可能な原子力発電再開に向けた法令整備に関する権限の政府委任法案を可決。
6 月 15 日 スウェーデン新規原子力発電プロジェクト会社「ビデバーク・クラフト」社、新規建設に英ロールス・ロイス SMR 社を選定。
6 月 17 日 エストニア議会、原子力利用に関する包括的な法制度「原子力エネルギー・安全法」を可決。
6 月 17 日 韓国水力・原子力、大型炉 2 基と SMR1 基の新規建設候補地にそれぞれ慶尚北道の盈徳郡、釜山広域市の機張郡を選定。
6 月 18 日 印タラプール 2 号機 (BWR、16. 0 万 kWe) が運転再開。運転期間 10 年延長に向け、2020 年 7 月から大規模改修を実施。
6 月 18 日 **米 Valar Atomics 社のマイクロ炉「Ward 250」が初臨界を達成。RPP で 2 基目。**
6 月 22 日 加政府、原子力戦略を発表。2050 年までに原子力関連人材の倍増、数十億加ドル規模の民間投資の促進、国内産業の競争力強化をめざす。
6 月 23 日 米 DOE、長納期機器の調達資金を支援する総額 175 億ドル(約 2. 8 兆円) の条件付き融資の実施を発表。
6 月 23 日 英 EDF エナジー社と米ホルテック・インターナショナル社、英政府に SMR-300 建設を共同提案。コックム石炭火力発電所跡地の活用を想定。
6 月 23 日 米大手電力コンステレーション社と小売大手ウォルマート社、長期の電力購入契約 (PPA) を締結。ドレスデン・グリーン・エネルギー・センターから電力を供給。
6 月 24 日 日・政府、「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」案を提示。次世代革新炉を成長産業と位置付け、2040 年度迄に官民で 5 兆円投資。
6 月 25 日 スウェーデン政府、新規建設プロジェクト会社「ビデバーク・クラフト」社の株式 60%取得を決定。
6 月 27 日 印・高速増殖試験炉 (FBTR、4 万 kWt/1. 32 万 kWe のナトリウム冷却ループ型高速増殖炉) の原子炉熱による水素製造施設を開設。
6 月 30 日 **米 Deployable Energy 社のマイクロ炉「Unity」が初臨界を達成。7/4 (独立記念日) 迄に少なくとも 3 基の臨界到達目標を達成。**
7 月 1 日 ボーランド・シントス・グリーン・エナジー (SGE) 社、英国内 3 か所に計 14 基の BWRX-300 (BWR、30. 0 万 kWe) を導入する計画を発表。
7 月 7 日 **日米韓政府、インド太平洋地域における SMR 導入支援で覚書締結。**
7 月 9 日 英 EDF エナジー社、サイズウェル B (PWR 単機、125. 0 万 kWe) の 2055 年迄の運転継続に向けて、英政府と差金決済契約 (Cfd) の締結で基本合意。
7 月 13 日 米ニュージャージー州、新規原子力発電所建設に向けて競争的な調達プログラムを設定する法律(パラー NJ 法)を制定。
7 月 16 日 IEA「重要鉱物見通し 2026」を発表。原子力回帰で原子燃料サイクルへの多額の投資の必要性を指摘。
7 月 21 日 **日・政府が「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」と「日本成長戦略」を閣議決定。原子力強化を明記。**
7 月 22 日 **米国とサウジアラビアが原子力協定を締結。**
7 月 28 日 米 DOE、原子燃料サイクル・キャンパスの設置候補 5 州を発表。
7 月 28 日 **日・エネ庁、電力広域的運営推進機関 (OCCTO) による 50 万 kW 以上の電源への融資方針を発表。原子力など脱炭素電源優先。**
7 月 28 日 令和 8 年熊本地震、近隣の 3 原子力発電所は異常なし、運転継続。
7 月 30 日 米ホルテック・インターナショナル社、閉鎖済みオイスタークリーク発電所サイトなど、米南部のエンタジー社の電力供給エリアで SMR プロジェクトの計画を発表。
7 月 30 日 ギリシャ閣僚会議、原子力発電の役割を評価し、政府に勧告を行う省庁間委員会の設置を閣議決定。
7 月 31 日 **中国国务院、4 サイト・計 8 基の新設を承認。**
7 月 31 日 **日・政府、原子力発電所の建て替え目標を盛り込んだ原子力政策行動指針改正を正式決定。**
8 月 1 日 **中・昌江 3 号機 (華龍一号、120.0 万 kWe) が送電開始。**
8 月 3 日 **中・太平嶺 2 号機 (華龍一号、112.6 万 kWe) が営業運転開始。**
8 月 4 日 フィンランド放射線・原子力安全庁 (STUK)、使用済み燃料の最終処分施設(オンカ)の操業許可発給を支持。
8 月 12 日 スペインのアルマス原子力発電所 (PWR、100 万 kWe 級×2 基)、2030 年 6 月まで運転認可更新。
8 月 13 日 米ブルー・エナジー社、テキサス州ヒューストンにおける「カース原子力」プロジェクトで GE ヘルバ日立ニュークリアエナジー (GVH) 社と事業契約を締結。
8 月 18 日 ウレコ USA 社、生産能力 2, 100tSWU/年を追加する濃縮施設の起工式を開催。濃縮能力を 50%拡張。
8 月 26 日 **日・政府の「GX 実行会議」が政策パッケージ「パワーGX」を発表。原子力の最大限活用を明記。**
8 月 26 日 ハンガリー・パクシュ発電所 (PWR=VVER-440、50 万 kWe 級×4 基) が定格出力で運転再開。ドナウ川の水位低下で 7 月下旬から運転停止や出力制限を実施。